

1996年福井県で保護された シロエリオオハム*

大迫義人¹

シロエリオオハム *Gavia pacifica* (または *G. arcitica pacifica*) は、東シベリア・アラスカからハドソン湾・バフィン島にかけて繁殖し、北アメリカからメキシコまでの海岸と日本の周辺で越冬し (Harrison 1983)、また、日本では、冬鳥として九州以北の海上に渡来する (高野 1982)。野外での本種の冬羽は、オオハム *G. arcitica* のそれと酷似するので (高野 1982)、福井県では1982年まで記録されていなかった (福井県 1982)。しかし、1993年に保護された個体が、その外部計測値から本種と同定されていることから (日本野鳥の会福井県支部 1995, 小嶋明男 私信)、多くの個体が、本県にも渡来しているものと考えられる。1996年2月に本種を福井県福井市の海岸で保護したので報告する。

福井県福井市の嶋田進氏には本個体を保護していただき、坂井郡三国町の藤井武夫獣医師には報告していただいた。記して感謝する。

1996年2月2日、福井県福井市石橋町の海岸 (36° 09' N, 136° 06' E, 標高0m) で、飛べないで衰弱している本個体が発見・保護された。保護時、胸から腹にかけて、重油らしき油がこびりついていたので、翌日、洗浄・除去された。この油の付着が原因で、潜水に困難をきたし衰弱したものと考えられる。2月4日、本個体は、福井県自然保護センターへ移管され、加温・給餌され、体力回復後、2月15日に石川県石川市犀川河口 (36° 36' N, 136° 35' 30" E, 標高0m) で放鳥された。

本個体の体の上面は暗褐色で、尾は黒褐色であり、胸から腹は白色で、胸側には黒色の縦線が入っていた。また、嘴はまっすぐで黒褐色であり、虹彩はくり色であった (写真1)。そして、全長59cm、翼開長105cm、自然翼長30.3cm、尾長5.9cm、ふしよ長 7.2cm、足長 8.8cm、露出嘴峰長4.7cm、体重1,350g (放野時1,468g) であり、オオハムの全長、ふしよ長と露出嘴峰長より短かった (清棲 1978)。また、オオハムの脇部は斑状に白いのに比べ、本個体のそれは帯状に暗褐色であったことより (写真1)、シロエリオオハムと同定された (Harrison 1983)。

本個体は、人間の接近に対しあまり逃げようともせず、かつ、つつくことも少なくおとなしかった。また、餌として与えたイワシやアジをよく食べてくれた。

京都府では、夏羽の本種が観察され、また、オオハムとして保護された個体も計測結果から本種である場合が多かったことより、多くの個体が渡来していると推察されている

* 福井県自然保護センター研究業績 第37号

1. 福井県自然保護センター。〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2



写真1. 1996年2月2日に、福井県福井市石橋町の海岸で保護されたシロエリオオハムの頭部（上）と脇部（下）。

Photo 1. Head(top) and flank(bottom) of the Pacific Diver protected on the seashore, Fukui City, Fukui on 2 February, 1996.

（京都府1993）。このことから、隣県である福井県でも、本種が多く渡来しているものと考えられる。

引用文献

福井県. 1982. 福井県の鳥獣. 240pp. 福井県, 福井.

Harrison, P. 1983. Seabirds: an identification guide. 448pp. Houghton Mifflin

Company, Boston.

清棲幸保. 1978. 増補改訂版 日本鳥類大図鑑 . pp.998-1,000. 講談社, 東京.

京都府. 1993. 京都の野鳥. 177pp. 京都府, 京都.

高野伸二. 1992. フィールドガイド 日本の野鳥 増補版. 342pp. 日本野鳥の会, 東京.

A record of the Pacific Diver in Fukui City, Fukui, 1996

Yoshito Ohsako¹

One Pacific Diver *Gavia pacifica* was protected on the seashore in Fukui City (36° 09'N, 136° 06E, Elev. 0m), Fukui on 2 February, 1996. Some substances such as oil were attached to the underpart of the bird, which might be the cause of the weakness. The bird had been kept for two weeks at Fukui Nature Conservation Center and was released on the mouth of a river in Ishikawa on 15 February. Pacific Divers have ever been misidentified as Black-throated Divers in the field, because the two species have similar winter plumage. Many Pacific Divers possibly winter on the sea in Fukui.

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi, Fukui 912-01